

# 日本活断層学会 2021 年度秋季学術大会プログラム

10月22日（金）午後

一般研究発表（口頭）

座長：吾妻 崇

- 13:00 O-1 活構造・変動地形に反する予想外の大地震  
遠田晋次
- 13:20 O-2 北京周辺の活断層の変動地形学的再検討  
○中田 高・後藤秀昭・熊原康博
- 13:40 O-3 富山県氷見市で発見されたイベント堆積物の珪藻分析・年代測定  
○立石 良・河村綾太・卜部厚志
- 14:00 O-4 様々なスケールで断層に発達する複合面構造とその物理的描像  
○宮本 英・廣野哲朗・湯川 諭

休憩（14:20-14:40）

座長：立石 良

- 14:40 O-5 活断層の長期評価と地震動予測に関する理学系専門家向けアンケート調査－不確実性を有する情報の発信方法改善に向けて－  
光井能麻・○鷺谷 威
- 15:00 O-6 日本のジオパークにおける活断層の分布と活用状況  
○道家涼介・山口 勝・吾妻 崇・中埜貴元・  
安江健一・藤原広行・香川敬生・中島秀敏
- 15:20 O-7 研究機関と学会の協働による若手育成（その3）：「第3回 活断層の学校 in つくば “国土地理院、産総研、防災科研で学ぶ活断層研究”」の開催報告  
○吾妻 崇・中埜貴元・藤原広行・中島秀敏・  
安江健一・道家涼介・香川敬生・山口 勝

10月22日(金)午後

一般研究発表(ポスター)

15:40-16:00 ショートオーラル

16:00-17:30 コアタイム

- P-1 重力探査による仙台平野南部の伏在活断層の南方延長の推定  
○安保亮汰・岡田真介・岡田知己
- P-2 潮間帯化石群体の<sup>14</sup>C年代測定に基づく地殻変動履歴の復元:土佐湾東岸部, 羽根岬の事例  
○塚原柚子・菅野瑞穂・後藤 翠・藤田奈津子・小松哲也・前杵英明
- P-3 三河地震の変位情報を利用した特性化震源モデルの高度化に関する測地データに基づいた検証  
○近藤優花・隈元 崇
- P-4 地下30mまで探査可能な地中レーダ探査機器の導入と活断層調査への適用  
○谷口 薫・石井一徳・木村治夫・川嶋涉造・堤 浩之
- P-5 iPad Pro 簡易 LiDAR を用いた効率的な活断層調査とその可能性  
○岩佐佳哉・山中 蛍・後藤秀昭・熊原康博・中田 高
- P-6 2020年Masbate島(フィリピン)で発生した地震(M6.6)の地表地震断層  
小村慶太郎
- P-7 阿蘇外輪山北西部で新たに確認した断層変位地形と2016年熊本地震に伴う地表地震断層  
○中埜貴元・宇根 寛・佐藤 浩・小村慶太郎
- P-8 仙台南部地域における長町-利府線断層帯の分布とその活動による地形発達への影響  
中村朋暉
- P-9 高密度ボーリングデータから推定される長町-利府線断層帯の活構造分布  
○高橋直也・遠田晋次
- P-10 長町-利府線断層帯における2次元微動アレイ探査  
○鈴木晴彦・高橋直也・吉見瑶子・中村朋暉・  
乗松君衣・松山尚典・遠田晋次
- P-11 断層ガウジに含まれる交換性陽イオンと全岩化学組成の関係  
○菅野瑞穂・丹羽正和・島田耕史・立石 良

- P-12 断層破碎帯の震動特性 —中央構造線断層系三野断層—  
○香川敬生・木村一成
- P-13 飛騨高原北部に分布する稲越断層の断層露頭  
○中村耕佑・田村友識・山口弘幸・安江健一
- P-14 長野県北部，野尻湖西方で発見された活断層露頭周辺の地形・地質  
○竹下欣宏・関めぐみ・近藤洋一・花岡邦明・宮下 忠・  
中川知津子・廣内大助・野尻湖地質グループ
- P-15 糸魚川-静岡構造線活断層系白州断層の詳細な活断層分布と三次元変位ベクトルの復元  
○山中 蛍・後藤秀昭
- P-16 令和3（2021）年度 1：25,000 活断層図の公開  
○星野賢史・小野 康・岡本勝浩・稲澤容代・前島正吉・山中崇希

10月23日(土)午前

一般研究発表(口頭)

座長:中埜貴元

- 9:00 O-8 主断層と副断層の活動の同時性:2016年熊本地震断層上での古地震調査を例にして  
○石村大輔・高橋直也・堤 浩之・遠田晋次
- 9:20 O-9 光学画像相関解析を用いた 2016 年熊本地震に伴う地表地震断層の詳細マッピング  
○杉本 惇・高玉秀之・足達健人・渋谷典幸・小俣雅志
- 9:40 O-10 熊本地震の主断層トレスから離れた位置で生じた微小変位箇所における活断層トレンチ調査結果—大津町下町トレンチ, 益城町上陳東トレンチ—  
○渋谷典幸・小俣雅志・渡邊和輝・杉本 惇・足達健人・高玉秀之

休憩(10:00-10:20)

座長:石村大輔

- 10:20 O-11 熊本地震の地表地震断層主要部から離れた位置に分布する微小変位とその特徴  
○小俣雅志・渋谷典幸・杉本 惇・森 良樹
- 10:40 O-12 阿蘇カルデラ西壁に発達する正断層群の断層露頭  
○平尾 匠・佐藤涉里・内田嗣人・大久雅貴・佐野達也・向吉秀樹
- 11:00 O-13 大森—三子山リニアメントの断層露頭と地質学的累積変位量  
○向吉秀樹・松浦良彦・清水亮介・永島晴夫・山内靖喜

11:30-11:45 表彰式

10月23日(土)午後

シンポジウム「北陸の活断層と地震防災」

【趣旨】

北陸地方は比較的地震が少ない印象があるかもしれませんが、過去には度々被害地震に襲われていますし、内陸型地震を起こす原因である活断層が存在しています。平野と山地の境界に逆断層、山間部に横ずれ活断層が存在しています。また、海域にも活断層が存在しています。本シンポジウムでは、北陸地方の活断層や地震活動に関する最新の知見について情報交換を行い、地域の地震防災について考えたいと思います。

司会：山瀬裕子

- |       |                    |      |
|-------|--------------------|------|
| 13:30 | 趣旨説明               | 安江健一 |
| 13:40 | S-1 北陸の活断層の特徴とその背景 | 石山達也 |
| 14:05 | S-2 北陸の地震と石川の活断層   | 平松良浩 |
| 14:30 | S-3 活断層と地域防災       | 小杉邦夫 |

休憩 (14:55-15:10)

- |       |                                     |      |
|-------|-------------------------------------|------|
| 15:10 | S-4 小竹貝塚の標高の謎ー地球科学から考古学に架橋する試みー     | 川崎一朗 |
| 15:35 | S-5 福井地震と福井平野の活断層ー福井地震と平野形成の関わりを探るー | 廣内大助 |
| 16:00 | S-6 北陸と周辺海域の地震地体構造と応力場の変遷           | 竹内 章 |

(終了 16:30)